

2. 道路・交通の方針

(1) 基本方針

(道路・交通の基本方針)

特色ある地域を結び、安全で便利な人の移動を確保する

本市は、東名高速道路や東名三好 IC、(都) 国道 153 号バイパスなど、広域的な交通条件が整備されていますが、これらの広域交通へのアクセスを担う道路や都市内道路網のネットワークが未形成の状況にあります。

このため、都市幹線道路や補助幹線道路など、段階構成に応じた分かりやすい道路網の整備を進め、都市内道路のネットワークを確立することにより、都市内各地域を結び、都市機能の連携の強化を図るとともに、産業交通と生活交通の分離、市南北方向の連絡の強化および東名三好 IC へのアクセス向上や日常生活空間としての道路や歩行者・自転車を利用する道路の整備およびネットワークの充実を図ります。

また、人にやさしい公共交通を充実し、歩行者や交通弱者の視点に立った、安全で快適な交通環境づくりを進めます。

道路・交通の方針

- | | | |
|------------------|-----|-------------------------------|
| ① 幹線道路の整備 | ——— | 《内環状軸の整備》
《幹線道路の整備》 |
| ② 人にやさしく安全な道路の整備 | ——— | 《生活道路などの充実》
《自転車・歩行者空間の充実》 |
| ③ 公共交通の充実 | ——— | 《公共交通の充実》 |

(2) 道路・交通の方針

① 幹線道路の整備

《内環状軸の整備》

本市の中心市街地周辺では、市役所周辺など行政サービスの中心となる拠点、サンアートなどの文化拠点、商業拠点、公園・緑地の拠点など、各種都市機能が分散して配置されている状況にあります。このため、これらの都市拠点をネットワークする道路として、（都）平池天王台線、弥栄線、春木豊田線の一部、三好北線、中島線、東郷三好線の一部を《内環状軸》として位置付け、未整備箇所の整備を進め、都市機能の連携強化を図ります。また、内環状軸は中心市街地における重要な回遊動線として、様々な交通手段に使いやすい道路になるよう配慮し、住民の利便性・快適性の向上を図ります。

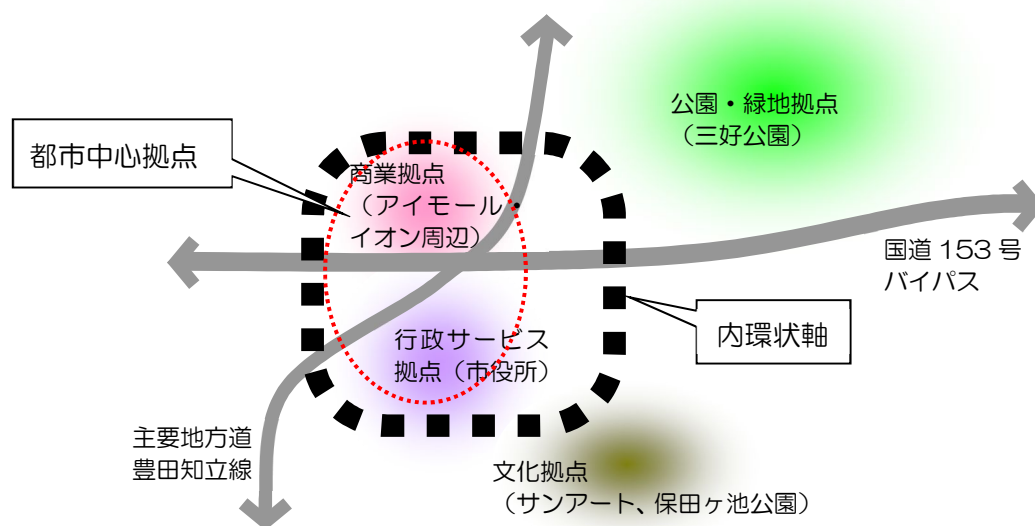


図 内環状軸のネットワークのイメージ

《内環状軸の整備》	☐ 快適な暮らしの環境をコーディネートする ☐ 水と緑の環境を守り、未来へつなぐ ☐ 交通ネットワーク、公共交通を充実する ☒ 産業の発展と交流の促進によるにぎわいをつくる ☐ 安全で安心できる都市生活を確保する ☐ 参加と協働のまちづくりを進める
・ 内環状軸（（都）東郷三好線、平池天王台線）の必要箇所の整備	⇒ ● 未整備箇所の整備による都市機能の連携強化 ● 道路景観に配慮した魅力的な景観づくり ● ユニバーサルデザインの考え方を考慮した道路整備

《幹線道路の整備》

幹線道路の整備については、道路単体ではなく、全体的なネットワークの構築に配慮するとともに、《都市幹線道路》、《地区幹線道路》といった道路の段階構成や、各道路の役割、必要性に応じて計画的な整備を進めます。

都市間の連携を担うとともに、本市の骨格を形成する《都市幹線道路》として、（都）豊田知立バイパス線、豊田知立線、日進三好線、東名三好インター線、福谷三好ヶ丘線、東郷豊田線、春木豊田線、岡崎三好線、名古屋三好線、豊田刈谷線および三好ヶ丘駒場線を位置付け、未整備箇所の整備を進めます。特に、（都）豊田知立バイパス線、豊田知立線、三好ヶ丘駒場線は、本市における南北方向の骨格道路であり、整備推進により地域の連携強化、東名三好 IC へのアクセスの強化、産業交通と生活交通の分離を図ります。

また、都市内の連携強化や各地域の集散交通を処理する《地区幹線道路》として、（都）黒笹三好ヶ丘線、緑ヶ丘線、黒笹福谷線、三好ヶ丘停車場線、インター1号線、インター2号線、三好南線、弥栄明知線、三好明知下線、（都）黒笹線、ひばりヶ丘線、インター3号線、インター4号線、青木線、蜂ヶ池線、三好中央線、森曾線および中大通線を位置付け、必要箇所の整備を進めます。

なお、未着手の都市計画道路については、愛知県の「都市計画道路見直し方針」に基づき、今後も社会経済情勢の変化を踏まえ、多角的な視点からの必要性や実現性を検証し、必要に応じて見直しを検討します。

《幹線道路の整備》		☐ 快適な暮らしの環境をコーディネートする ☐ 水と緑の環境を守り、未来へつなぐ ☒ 交通ネットワーク、公共交通を充実する ☐ 産業の発展と交流の促進によるにぎわいをつくる ☐ 安全で安心できる都市生活を確保する ☐ 参加と協働のまちづくりを進める
都市幹線道路（（都）豊田知立バイパス線、豊田知立線、東郷豊田線、春木豊田線、名古屋三好線、三好ヶ丘駒場線）の整備	⇒	● 未整備箇所の整備による骨格形成 ● 都市間および都市内連携の強化 ● 東名三好 IC へのアクセス強化 ● 産業交通と生活交通の分離促進
地区幹線道路（（都）黒笹三好ヶ丘線、黒笹福谷線、青木線、蜂ヶ池線、三好中央線）の整備	⇒	● 未整備箇所の整備による都市内連携の強化、地域内交通の充実

②人にやさしく安全な道路の整備

《生活道路などの充実》

生活道路は、日常生活におけるオープンスペースとして、居住快適性の面だけでなく、防災や交通安全など様々な側面から重要な空間です。このため、地域住民との連携のもと、各地域のまちづくりへの貢献度を総合的に捉えて、必要とされる道路や区間を優先しユニバーサルデザインの考え方を踏まえた、安全・安心な生活道路の整備・充実を図ります。

《生活道路などの充実》	■ 快適な暮らしの環境をコーディネートする ☐ 水と緑の環境を守り、未来へつなぐ ■ 交通ネットワーク、公共交通を充実する ☐ 産業の発展と交流の促進によるにぎわいをつくる ☐ 安全で安心できる都市生活を確保する ☐ 参加と協働のまちづくりを進める
・ 地域の状況に応じた生活道路などの充実	⇒ ● 地域間のネットワークに配慮した主要な生活道路の配置 ● 人にやさしく快適な道路の整備（ユニバーサルデザインの考え方の考慮、利用度に応じた植樹やサインなどの整備） ● 開発行為においては 6m 以上の幅員を確保

《自転車・歩行者空間の充実》

境川など、水と緑の資源を生かした基幹ネットワークの形成を図るとともに、既存の緑道や都市拠点とのネットワークの充実を図ります。また、幹線道路の歩車道分離を図り、人にやさしい安心な環境を整備するとともに、地域に点在する公園・緑地や住民の憩いの場を安全に移動できるように、自転車・歩行者専用道路や既存の道路における自転車通行帯の整備を進めます。

また、里山などに存在する既存の道を、散策路などとして有効活用することにより、自然とふれあえる歩行者空間の形成に努めます。

《自転車・歩行者空間の充実》	■ 快適な暮らしの環境をコーディネートする ■ 水と緑の環境を守り、未来へつなぐ ■ 交通ネットワーク、公共交通を充実する ☐ 産業の発展と交流の促進によるにぎわいをつくる ☐ 安全で安心できる都市生活を確保する ☐ 参加と協働のまちづくりを進める
・ 安全で快適な自転車・歩行者空間の充実	⇒ ● 緑の基幹ネットワークの形成 ● 地域のまちづくりと連動した自転車道、歩行者道の確保 ● 幹線道路の歩車道分離推進 ● 歩行者空間のバリアフリー化の推進

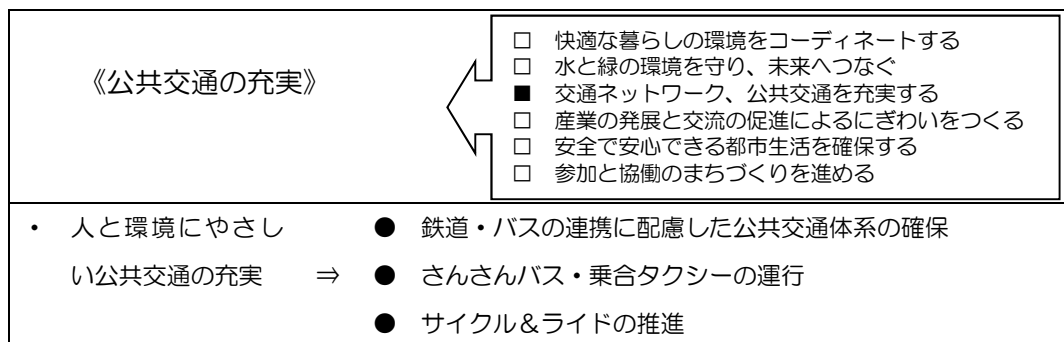
③公共交通の充実

《公共交通の充実》

自家用車に過度に頼らず、子どもから高齢者まで誰もが気軽に外出できるようにするため、公共交通のサービス向上を図ります。

そのため、地域全体の公共交通のあり方や役割を定める「地域公共交通網形成計画」に基づき、鉄道、路線バス、タクシーなどの公共交通相互の連携を図り、さんさんバスの運行の充実や「みよしの顔」となる都市中心拠点と北の玄関口の一つである三好ヶ丘駅の駅前拠点の連携強化など、人と環境にやさしい公共交通の利用促進やネットワークの形成を図ります。

また、公共駐輪場を整備し、サイクル&ライド※を推進することで、公共交通の利用を促進します。



※ サイクル&ライド：自転車でバス停や駅まで移動し、バスや電車に乗り換えるシステムのこと。

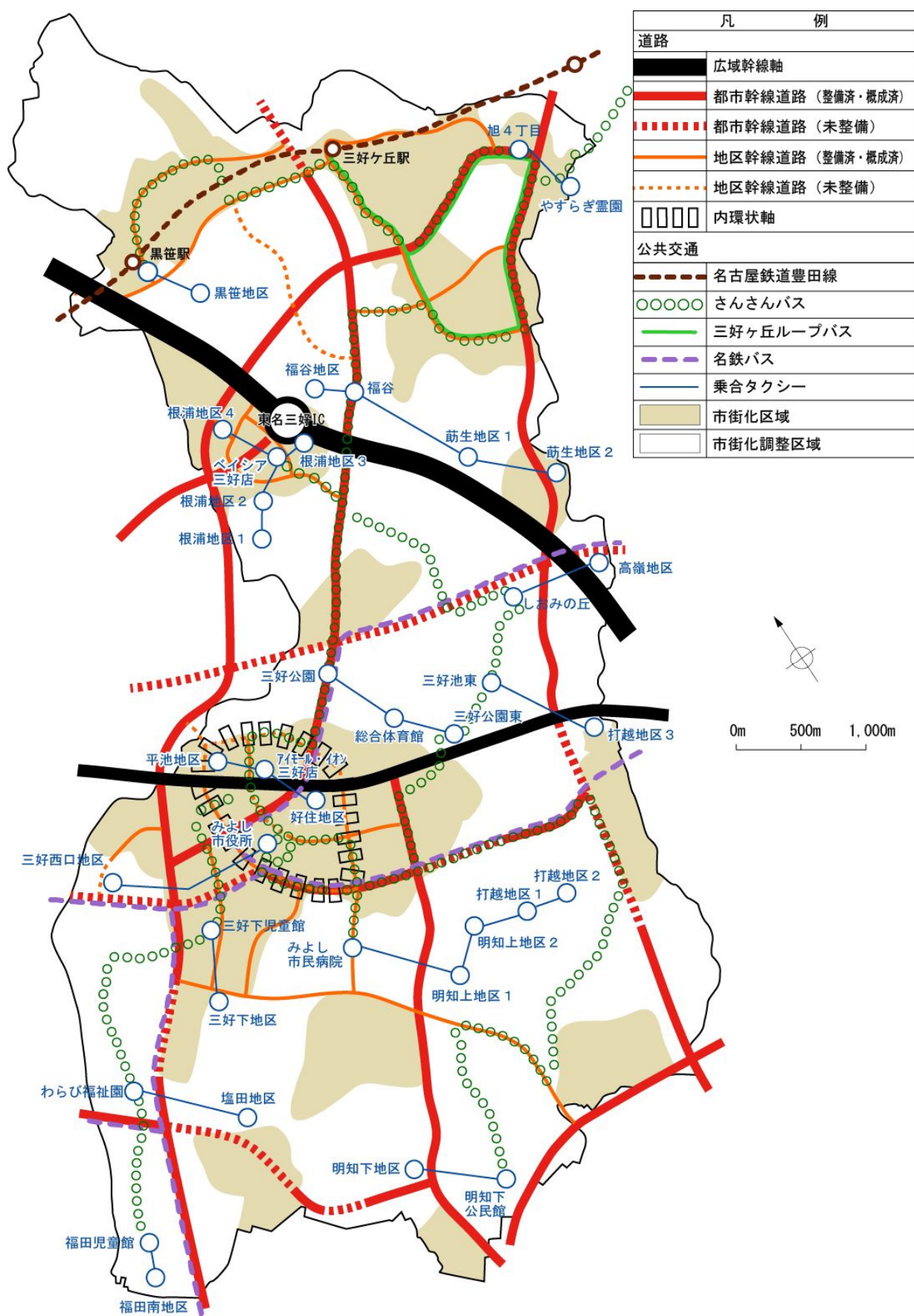


図 道路・交通の方針